

様式第5号

出張調査報告書

令和 4年 1月26日

松伏町議会議長 増田 等 様

会派名 公明党

代表者氏名 川上力



下記のとおり先進地視察をしたので届け出ます。

記

1 期 日	令和 4年 1月13日から令和 4年 1月14日
2 視 察 地	(1) 富山県朝日町 (2) 富山県安住町
3 視 察 目 的	(1) 「ノッカルあさひまち」MaaS 事業のへの取り組みと 成果について (2) 県営仁右エ門用水発電所 地勢的特徴を有効活用す る小水力発電
4 視 察 者 氏 名	川上 力、 村上 真由美
5 視 察 結 果	行程、視察結果は別紙のとおり

出張調査報告書

党会派で行政視察を行いましたので、その結果を下記の通り報告致します。

記

1. 調査年月日

令和4年1月13日(木)から令和4年1月14日(金)まで

2. 視察地及び視察目的

(1) 富山県朝日町 「ノッカルあさひまち」 MaaS 事業のへの取り組みと成果について



(2) 富山県安住町 県営仁右エ門用水発電所 地勢的特徴を有効活用する小水力発電



3. 視察者名

川上 力、
村上 真由美

4. 行政調査日程表 別紙

5. 視察内容及び結果

(1) 富山県朝日町 「ノッカルあさひまち」について

① 事業開始の経緯

朝日町の公共交通の問題点として、鉄道駅はあるものの民間バス路線が町内にはない。タクシーは町内に1社あるが、医療機関、商業施設のある中心街から離れた地区では料金が高額になり、移動手段に問題が発生していた。

●そのため先にコミュニティバスの「あさひまちバス」を運行。

しかし車両台数に限りがあり(3台)地区によっては、巡回頻度が少ない。高齢化の進む町では運転手の確保が難しいなど課題があった。路線上であればどこでも乗車できる自由乗車方式だが、路線から距離のある方は不便を感じていた。

そこで、朝日町における新たな移動サービスを検討するため朝日町役場、黒東自動車商会(タクシー)、スズキ(自動車メーカー)、博報堂(広告会社)でMaaS実証実験推進協議会を設立した。協議会によるサービスの検討のため朝日町における、移動に関する課題を知るため高齢者を中心にヒヤリングをし、住民の普段の車での移動を活用しながら、住民同士の助け合いの気持ちを形にした公共交通サービス「ノッカルあさひまち」をはじめた。

②事業のポイント

●道路運送法が定める「市町村運営自家用有償旅客」の範囲内で運用、役場が運行主体として提供する公共サービス。

●朝日町から交通事業者に運行管理を委託。黒東自動車商会がサービスの管理を行う。(予約受付など)

●安全講習を受けたドライバーが個人の自家用車で送迎。ドライバーはもともと行く予定のある場所に近所の利用者を乗せる。

●居住地区から病院・スーパー・役場など中心市街地までの利用限定。ドライバーが乗せるのは同じ地区の住民のみ。

③利用方法

ドライバーは事前にアプリでシフトを入力 → 利用者は会員登録後、事前に決められたダイヤの中から電話または、インターネットで予約 → ドライバーにメール通知 → 運行

④利用運賃

距離に関わらず一律600円

相乗りの場合は400円

支払い方法は事前チケット購入制。あさひまちバスと同じチケットを使用し、相互利用を可能にした。

ドライバーの報酬は1運行あたり200円の商品券を支給。

町の支援策として、70歳以上の家庭、身内がいない、車がない、非課税世帯、高齢者には年間80枚のチケットを配布。免許返納者にも配布している。

⑤「ノッカルあさひまち」の現状

現在の会員登録者数 170人位このうち60人位が利用している。(約4割)
女性の利用が80%、年代別では80代女性が58%と多い。利用人数 月160人、
1日5～6人住民ドライバーが中心に行っている。

⑥今後の課題

●利用者数、運行回数の増加

バス、鉄道、タクシーと並ぶ公共交通にするために運行回数の増加が必要。

新規利用者を増やすための広報活動、説明会の開催

●一般ドライバーの増加

新規ドライバーを増やすための広報活動、説明会の開催。

利用ニーズにあわせた曜日、時間の運行。

ドライバーが参加しやすい運行形式

●持続的な収支設計

ドライバー新規採用10人、1日平均5回運行、1運行あたり1.5人乗車と仮定したときの年間収支は-1,251,000円となっている。(国、県からの補助金を除く)

今後、「ノッカルあさひまち」の運行が増えれば、赤字金額も少なくなる。推進協議会で協議し、町民の声を聞きながらより良い「ノッカルあさひまち」となるようにしていきたい。



⑦感想

〈川上〉

全国で行われている Mars の取り組みは、観光要素を取り入れたインバウンド効果を狙うものが多い。そのなかで朝日町のような地域住民の助け合いで、日常生活・地域経済に溶け込むタイプの交通サービスに魅力を感じて視察した。

ノッカルは個人の車で会員の送迎を行うので、ドライバー研修や保険や管理費程度しか持ち出しがない。車両費や人件費がかからないのは大きな魅力である。

最近ではお店などの事業者が、空いている時間で送迎を行う動きも始まり、自分の店舗への集客にもなっている。その際のドライバー報酬をお店の割引に当てることで、相乗効果も狙えるようになってきた。通勤に伴う移動の際に周辺住民を乗せることで無理なく便数を増やせるように努力することも可能で、未来性・発展性を感じる取り

組みで大変に参考になった。

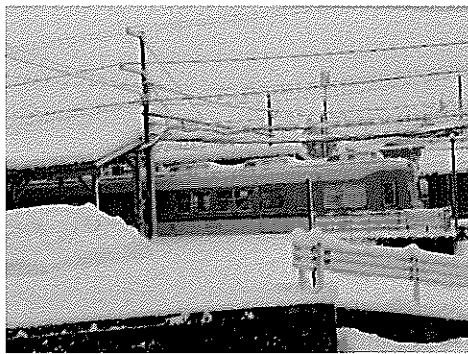
〈村上〉 朝日町の人口は約11,000人となっておりその中で、住民同士の助け合い公共交通サービスが運行されているのは素晴らしい。

運営に至るまで町、協議会の皆様は苦勞をされたと思うが、協議会の中でもそれぞれの企業が町への貢献を第一に考えたから出来たのではないか。

これにより、今まで外出できなかつた高齢者が外に出られるようになり、町民同士年齢に関係なく交流ができるようになったこと、高齢者がどこに住んでいるのかなども確認できるのも良い。また、商業施設においてもノックルの運行によって今まで来なかつたお客さんも呼び込めた。皆で支え合える町で素晴らしいと感じた。

(2) 富山県安住町 県営仁右エ門用水発電所

最寄り駅の寺田まで行ったが、大雪のため交通手段がなく行けなかつた。



以上

松伏町公明党議団 行政調査日程表 (令和4年1月13日～14日)

1月13日	松伏ニュータウン ターミナル	茨城急行バス	07:20	07:27	吉川駅	J R 武蔵野線	07:49	07:57	武蔵浦和駅	J R 埼京線	08:04	08:17	大宮駅	J R 新幹線	10:10	10:35	糸魚川駅	えちごトキめき鉄道 の風とやま鉄道	泊駅・食事	タクシー	13:15	15:45	朝日町役場	タクシー	16:30	16:46	泊駅	あいの風とやま鉄道	17:32	18:00	富山駅	徒歩	ホテル
着																																	
発	06:55																																

1月14日	ホテル	徒歩	08:30	09:03	電鉄富山	富山地方鉄道	09:00	09:40	寺田駅	タクシー移動できず	10:00	10:30	仁右衛門用水発電所	タクシー移動できず	11:00	11:08	寺田駅	富山地方鉄道	富山駅・食事	J R 新幹線	15:27	15:40	大宮駅	J R 埼京線	15:51	16:00	武蔵浦和駅	J R 武蔵野線	16:19	16:41	吉川駅	茨城急行バス	松伏ニュータウン ターミナル	
着																																		
発	08:30																																	

1月14日 (木)	ホテル	東横イン富山新幹線口2 076-405-1045	富山県富山市桜町1-4-1
朝日町役場	富山県下新川群朝日町	MaaS事業について(ノックカルあさひまち)	
0765-83-1100			
小水力発電	富山県企業局	小水力発電について	
076-444-2146			